生活・環境・文化のフリージャーナル　［エム アンド エヌ］
制作：FRO
発行：FFN（フォアフィールドネットワーク）
〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8
TEL：050-3044-1168
令和8年9月・10月号 隔月刊 禁無断転載

vol. 188

2026.9-10




# 「第28回日本水大賞」「2026日本ストックホルム青少年水大賞」表彰式・受賞活動発表会！

去る6月23日（火）、日本科学未来館（東京・江東区青海）において、日本水大賞委員会及び国土交通省主催による表彰式典並びに受賞活動発表会が開催されました。同受賞者一覧は本紙前号で紹介させていただきましたので、詳細については省きますが、日本水大賞への応募総数は81件あり、内19件が各賞の該当となりました。また、日本ストックホルム青少年水大賞への応募総数は12件で、内2件（校）が受賞し、グランプリを受賞した鹿児島県の学校法人池田学園池田高等学校地球科学班チーム桜島の皆さんは、日本代表として今夏にスウェーデンのストックホルムで開催されるSJWP（国際コンテスト）に参加しました。なお、同委員会は平成10年6月、安全な水、きれいな水、おいしい水にあふれる21世紀の日本と地球を目指し、水環境の健全化に寄与することを目的として設立された旧日本水大賞懸賞制度委員会が第7回から現名称に変更されたものです。

当日は、同委員会名誉総裁の秋篠宮皇嗣殿下ご臨席のもと、まず主催者で同委員会委員長の毛利衛氏が「日本水大賞委員会名誉総裁であられます秋篠宮皇嗣殿下をお迎えして表彰式を執り行えますことを非常に光栄に存じます」と述べた後、「先日4人の宇宙飛行士が月の裏側を回って地球に無事帰還いたしました。NASAではアポロ計画以来、月への有人宇宙飛行は途絶えていました。今から60年も前になりますけれども現在のように性能の良いコンピュータや人工知能がなかった時代に極限状況で人間の能力がいかに高いかということが分かりました。1968年、初めて月の裏側を周回して真っ暗闇に浮かぶ地球を撮影した写真は宇宙船地球号という意識をはじめて人類にもたらしてくれました。地球だけが生命の存在できる唯一の惑星というメッセージです。今回の飛行では更に解像度の高い月と地球を同時にとらえた写真が届けられました。月面のモノトーンの色と違い地球は青と白を基調にして多様な色で輝いています。この美しく多様な色は太陽系の惑星唯一、豊富な液体の水があるおかげなんですね。改めて水の貴重な存在と宇宙船地球号の意味を再認識し未来に向けて地球環境を保つ努力が必要だと思います。圧倒的な影響力を持つ自然の水。これを制御し上手に利用することは時代を問わずこれからも地球人にとって挑戦しなければならない課題ですね。」と氏らしく宇宙から俯瞰し水の惑星であることを強調した挨拶は印象的でした。

同じく主催者である国土交通省より金子恭之大臣から同様に名誉総裁のご臨席に感謝と受賞者の活動に敬意を表し、続けて「水は生命や社会に恵みをもたらす資源である一方、人の生命や豊かな生活を脅かす存在にもなり、世界中で気候変動を始めとする様々な社会課題とも結びついています。国際社会においては本年末に約3年ぶりとなる国連水会議の開催も予定されるなど議論が高まっております。わが国においても水をめぐる多様な課題に対応するため流域の関係者と一体となって水防災に対応するための流域水に加え利水や環境についても取り組むことで流域の価値を最大化させる流域総合水管理を推進することとしております。また国内外の水に関する課題を解決していくためには、行政、市民、NPO、大学、企業等の多様な主体による地域に根差した取り組みが一体となって進んでいくことが必要であります。今回受賞される皆様は全国各地において地域に密着する形で水防災、水資源、水環境に精力的に取り組んでおられる方々であります。今後もリーディングケースとして水循環系の健全化に向けてますますご活躍頂くことをご期待申し上げます。」と挨拶で述べました。



日本水大賞委員会を代表して挨拶する毛利衛委員長


同委員会名誉総裁の秋篠宮皇嗣殿下のお言葉


同じく主催者として国土交通省より挨拶する金子恭之同大臣

そして主催者の最後に同委員会名誉総裁の秋篠宮皇嗣殿下より、「本日、第28回日本水大賞、2026日本ストックホルム青少年水大賞の表彰式が開催され、皆様にお目にかかれましたことを大変嬉しく思います。そして、本年各賞を受賞される皆様に心よりお喜びを申し上げます」とのお言葉に続けて、水の持つ特性や国連が掲げる2030年までの持続可能な開発目標に「すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する」との目標からも水に関する事柄が地球規模の課題であることがわかりますと話されました。また、両大賞者にも言及し、日本水大賞受賞の宮城県農業高等学校環境保全部の活動には、「人の食生活を支える農業が、水を汚す原因ともなる」との問題意識から「水を汚さずにお米を作る」ことを目指し、まず水質汚染の原因が肥料、特に窒素の溶けすぎであることを突き止め、「溶けすぎず、残り過ぎない肥料」を開発するとともに施肥量も削減。さらに水質にも悪影響を与えず、稲の発育も促せる肥料の深さを研究し、適切な位置に施肥する田植機を開発。これらの技術で栽培される米は「水を守る米」として、食と環境を考える教材となるなど新たな価値を生み出しつつあり、高校生の活動が農業の将来を明るく照らしていると申せましょう。一方、日本ストックホルム青少年水大賞受賞の「（学）池田学園池田高等学校地球科学班チーム桜島」の活動には、世界有数の活火山である桜島の火山活動と温泉の水質の関連性に着目し、簡便な温泉水の科学分析法を確立し、火山活動が温泉水の成分濃度変化と対応することを発見しました。そして、この成果をもとに、地中のマグマから温泉水への火山ガス成分の挙動を説明することができるモデルを提唱しています。世界には約1,500の活火山があるといわれ、この研究が基礎となり、将来的に火山噴火の長期予測につながり、国際的な火山防災に貢献することを期待します。私たちは、水から受ける恩恵に感謝し、健全な水環境を礎とした国土と自然を後世に引き継いでいかなければなりません。本賞が、そのひとつの契機となり、多くの人々がそれぞれの地域で水を守り、水について考える活動を実践していかれることを願っております。おわりに、水に関わる皆様の活動が、日本はもとより世界へと発展していくことを祈念し、表彰式に寄せる言葉といたしますと結ばれました。なお。大賞を受賞した宮城県農業高等学校環境保全部に対しては、皇嗣殿下御自ら表彰状を授与されました。

また、同賞に関連する各大臣賞には副大臣等が出席し祝辞や各賞のプレゼンターを務めました。祝辞順に、環境省（友納理緒大臣政務官）、農林水産省（広瀬建大臣政務官）、文部科学省（中村裕之副大臣）、経済産業省（井野俊郎副大臣）の方々。そして表彰後には大賞受賞者の活動発表がそれぞれ行われました。

## 世界中で愛される名作を東京の天空で楽しむイベントが開催決定！
## フランス刊行80周年記念 星の王子さま 大切なものを探しに空の旅へ

森ビル株式会社（東京都港区、代表取締役社長 向後 康弘）が運営する六本木ヒルズ展望台 東京シティビュー（六本木ヒルズ森タワー 52 階）では、2026 年 11 月 13 日（金）から 2027 年 2 月 14 日（日）まで、フランス刊行 80 周年を記念した、特別イベント『星の王子さま 大切なものを探しに空の旅へ』を開催します。

『星の王子さま』は、フランス人の飛行士・作家であるアントワーヌ・ド・サン=テグジュペリの代表作であり、世界の三大ベストセラーにも数えられている作品です。フランス刊行 80 周年となる今年 2026 年に、地上 52 階で大空を一望することができる展望台、六本木ヒルズ・東京シティビューにて、大型イベントを開催します。

同イベントでは、原作者サン=テグジュペリがフランス航空史に名を残す飛行士でありながらも作家となり、不朽の名作『星の王子さま』を執筆することになったのかを紐解くべく、数々の物語の源泉となった『星の王子さま』のドローイングを忠実に再現し、作品にこめられた大切なメッセージを読み解いていきます。

「本当に大切なもの=l’essentiel（レソンシエル）」についての著者のメッセージは、地域・言語・文化、性別や年齢、そして時間の壁を超え、今も読む人に気づきと共感を与え続けています。東京の空と街を一望する展望台の景色と、『星の王子さま』の壮大な宇宙をめぐる旅。創作の原点となったドローイングや世界各国で刊行された書籍、フォトスポットなどを通して、物語の世界へ没入する特別な体験をお届けします。サン=テグジュペリが残したメッセージに触れながら、あなたにとっての「大切なもの」を探す旅へ出かけませんか。



Le Petit Prince® 星の王子さま® All TM properties of POMASE 2026

『星の王子さま』が初めて出版されたのは、1943年4月、アメリカ・ニューヨークのことでした。このとき、レイナル・ヒッチコック社（Reynal & Hitchcock）から、英語版とフランス語版が出版されました。一方、サン＝テグジュペリの母国フランスで『星の王子さま』が出版されたのは、第二次世界大戦終結後の1946年4月、ガリマール社（Gallimard）からでした。2026年は、フランスで『星 の王子さま』が出版されて80周年の記念すべき年です。

**読者プレゼント** 同展鑑賞券を読者5組10名様に！

公式サイト：https://tcv.roppongihills.com/jp/exhibitions/hoshinooujisama/index.html